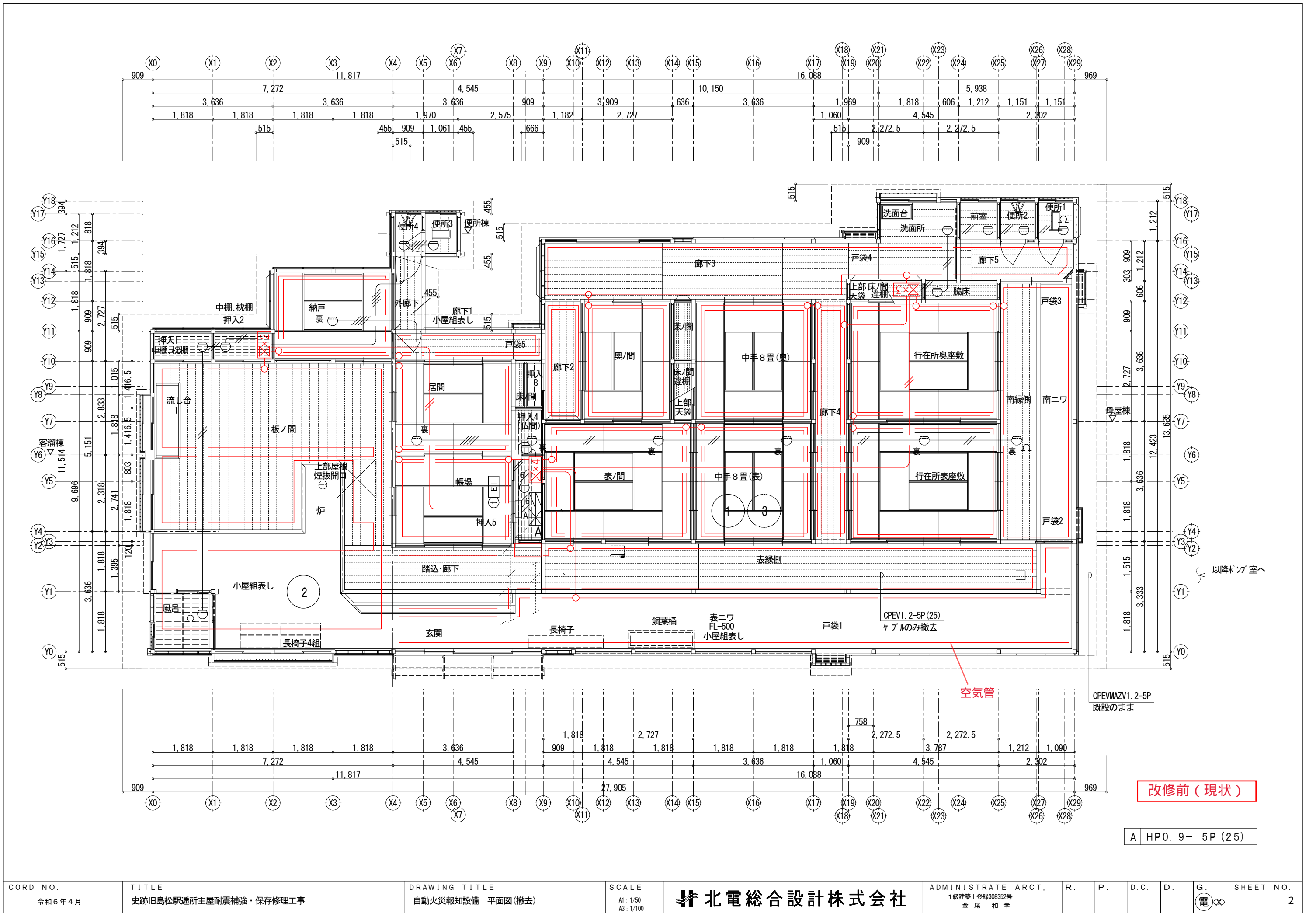


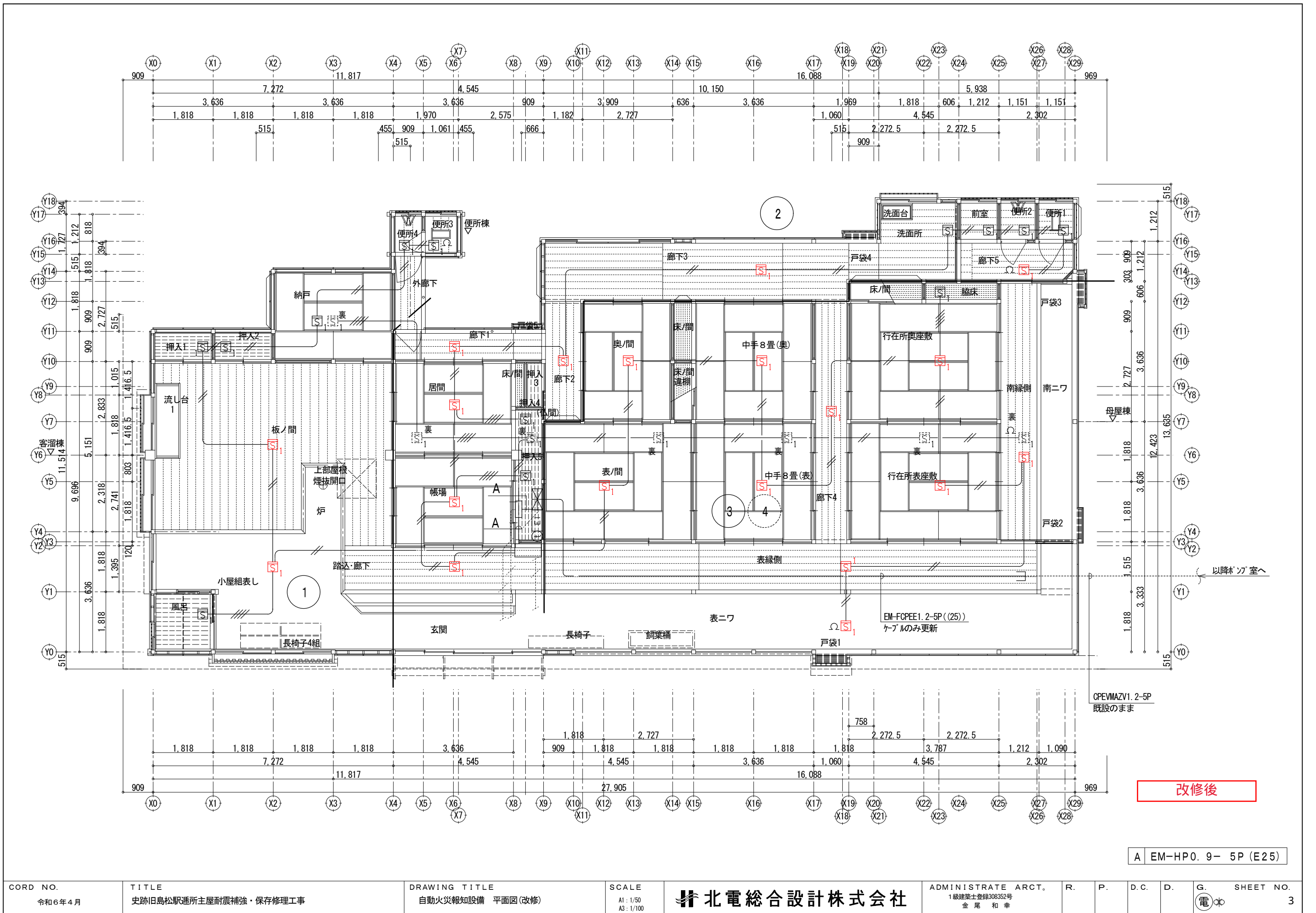
改修案	A案 既設同等更新 (P型受信機+空気管+煙感知器)	B案 空気管を煙感知器へ更新 (P型受信機+煙感知器)	C案 R型感知器へ更新 (R型受信機+アナログ式感知器)																								
メリット	<ul style="list-style-type: none"> ・意匠的に現状と変わらないイメージで設置できる。 ・イニシャルコストがC案に比べて、安価となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・火災検知機能が一般的に、空気管に比べて煙感知器は早期に検知できる。 (煙感知器は、周囲の煙濃度が一定以上になったときに作動する。) ・イニシャルコストがC案に比べて、安価となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・火災発生場所を部屋単位で特定できるため、早期対応が可能となる。 (アナログ式感知器は、感知器が個々に位置番号を持っている。) 																								
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ・火災検知機能が一般的に、煙感知器に比べて空気管は検知は遅くなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意匠的に、天井へ感知器を設置するので現状とイメージが変わる。 (煙感知器の色について確認中) ・火災発生場所はエリア単位(北側、南側、天井裏など)でしか特定できない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意匠的に、天井へ感知器を設置するので現状とイメージが変わる。 (煙感知器の色について確認中) ・概算直接工事費がA案及びB案に比べて、高価となる。 																								
概算直接工事費 <small>注1)屋外ポール工事・自動通報装置 (電話機含む)・既設撤去費は除く。 注2)機器見積査定率は、60%とした。 注3)経費・消費税は含まない。</small>	<table border="0"> <tr> <td>・機器費(P級1級受信機・総合盤・感知器・空気管)</td> <td>3,648,000円</td> </tr> <tr> <td>・配管・配線費</td> <td>450,000円</td> </tr> <tr> <td>・機器設置労務費</td> <td>1,250,000円</td> </tr> <tr> <td>・合計</td> <td>5,348,000円</td> </tr> </table>	・機器費(P級1級受信機・総合盤・感知器・空気管)	3,648,000円	・配管・配線費	450,000円	・機器設置労務費	1,250,000円	・合計	5,348,000円	<table border="0"> <tr> <td>・機器費(P級1級受信機・総合盤・感知器)</td> <td>4,260,000円</td> </tr> <tr> <td>・配管・配線費</td> <td>500,000円</td> </tr> <tr> <td>・機器設置労務費</td> <td>650,000円</td> </tr> <tr> <td>・合計</td> <td>5,410,000円</td> </tr> </table>	・機器費(P級1級受信機・総合盤・感知器)	4,260,000円	・配管・配線費	500,000円	・機器設置労務費	650,000円	・合計	5,410,000円	<table border="0"> <tr> <td>・機器費(R級受信機・総合盤・感知器)</td> <td>8,880,000円</td> </tr> <tr> <td>・配管・配線費</td> <td>500,000円</td> </tr> <tr> <td>・機器設置労務費</td> <td>650,000円</td> </tr> <tr> <td>・合計</td> <td>10,030,000円</td> </tr> </table>	・機器費(R級受信機・総合盤・感知器)	8,880,000円	・配管・配線費	500,000円	・機器設置労務費	650,000円	・合計	10,030,000円
・機器費(P級1級受信機・総合盤・感知器・空気管)	3,648,000円																										
・配管・配線費	450,000円																										
・機器設置労務費	1,250,000円																										
・合計	5,348,000円																										
・機器費(P級1級受信機・総合盤・感知器)	4,260,000円																										
・配管・配線費	500,000円																										
・機器設置労務費	650,000円																										
・合計	5,410,000円																										
・機器費(R級受信機・総合盤・感知器)	8,880,000円																										
・配管・配線費	500,000円																										
・機器設置労務費	650,000円																										
・合計	10,030,000円																										
取付状況写真	 <p style="text-align: center;">空気管(火災感知器)</p>	 <p style="text-align: center;">※イメージ写真</p>																									
考察	<ul style="list-style-type: none"> ・国宝・重要文化財(建造物)等の防火対策ガイドラインに基づき現状の火災報知設備の再検討を行った。現状は美観性を重視して空気管としているものの火災の早期発見ができるB案もしくはC案にすることが望ましい。 ・旧駅通所は複雑な平面形状等ではなく、平屋建てであり規模も大きくないため、C案までの設備は不要であるとする。 ・上記を踏まえ、美観性はA案より劣るものの火災のリスクを低減できると考えられるB案とすることが望ましいと考える。 																										



改修前(現状)

A HP0. 9- 5P (25)

CORD NO. 令和6年4月	TITLE 史跡旧島松駅通所主屋耐震補強・保存修理工事	DRAWING TITLE 自動火災報知設備 平面図(撤去)	SCALE A1: 1/50 A3: 1/100	北電総合設計株式会社	ADMINISTRATE ARCT. 1級建築士登録308352号 金尾 和幸	R.	P.	D.C.	D.	G. 電	SHEET NO. 2
--------------------	--------------------------------	-----------------------------------	--------------------------------	------------	---	----	----	------	----	---------	----------------



CORD NO. 令和6年4月	TITLE 史跡旧島松駅通所主屋耐震補強・保存修理工事	DRAWING TITLE 自動火災報知設備 平面図(改修)	SCALE A1: 1/50 A3: 1/100		ADMINISTRATE ARCT. 1級建築士登録308352号 金尾 和幸	R.	P.	D.C.	D.	G. 	SHEET NO. 3
--------------------	--------------------------------	-----------------------------------	--------------------------------	--	---	----	----	------	----	--------	----------------